

我々はただの掃除屋ではありません。

ご存知ですか？汚れには
必ず汚れる原因があります。

原因を追求し解明することにより
素材を傷めることなく
綺麗を長期維持させる！

カビとり隊は、そんな
スペシャリスト集団です。



あなたのお家を傷めず丸洗い!!!

カビとり隊

MOLD BUSTERS

見積り
無料!

九州で初めて国土交通省「NETIS」に登録された人体にも環境にも
優しい工法でお家の気になるカビを **特殊分解洗浄!**

POINT 1 屋内、屋外問わず
あらゆる素材・場所の
汚れやカビを
綺麗に落とす!

水垢分解洗浄 油分分解洗浄 コケ・藻洗浄
建物内外全般のカビ、コケ・藻類の除去・除菌 クロス、塗装面のヤニ等の汚れなどカビを根元(菌核)から除菌・分解することが可能なため、素材を傷めることなく汚れやカビを落とし効果(安全や見栄え)を維持させることができます。

POINT 2 人体・環境に
安全で優しい工法

オリジナル洗浄剤「ジョキント」は、野菜などの洗浄やおしぼり等の殺菌に使われる食品添加物の次亜塩素酸ナトリウムを主成分としているものを使用しています。

POINT 3 低コストで
お財布に優しい!

カビとり隊では、できるだけ足場を組みません!その分、工期が短縮され、工賃・人件費を大幅に削減できます。

POINT 4 特殊分解洗浄後、
コーティング
する事で汚れ等から守り、
お手入れも簡単!

すべり防止 保護コーティング
きれいになった素材を汚れ等から守り、お手入れも簡単になります。表面保護と浸透性保護の2種類のコーティングを素材に応じて使用します。

POINT 5 カビを根元(菌核)まで除菌・分解
素材を痛めず効果を持続!

除菌分解洗浄
従来工法の高圧や高温、洗浄剤を用いた洗浄は素材に強い負荷をかけてしまうため素材自体を傷めてしまうことが多い工法です。しかし、特殊分解洗浄ではそれぞれの汚れに特化した液剤を使用する為、汚れを根元から分解することが可能な工法です。素材を傷めることなく落とし、効果(安全や見栄え)を維持させることができる、それが特殊分解洗浄なのです。

POINT 6 国土交通省新技術情報提供システム
NETISに登録

※NETISとは、民間企業等により開発された新技術に係る情報を共有及び提供するためのデータベースで、国土交通省によって運営される「公共工事等における技術活用システム」の中核として平成10年度より整備されており、運営の目的として、優れた技術を持つ企業をサポートし、更なる新技術開発を促進する事が挙げられます。



NEW TECHNOLOGY INFORMATION SYSTEM
NETIS 登録番号
[QS-200033-A]
技術名称
特殊分解洗浄工法「カビとり隊」

我々はただの清掃屋ではありません。ご存じですか？汚れには必ず汚れる原因があります。原因を追究し解明することにより、素材を傷めることなく、綺麗を長期維持させる！カビとり隊は、そんなスペシャリスト集団です。

壁面 何度洗っても、直ぐ汚れる美観維持の対策に



屋根 屋根の防水や劣化防止の美観の維持対策に



床面 すべり転倒事故の安全対策に



室内 食品衛生法等に伴うハセップやISO等の衛生対策に



すべり転倒に伴う「安全」を数値で「見える化」
除菌の効果で施工前より4倍滑りに伴う「安全」を改善。さらに美観も維持。
汚れやウイルスに伴う「安全」を「見える化」

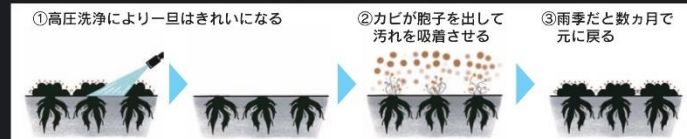
数値で判定し防衛する：滑り測定試験により洗浄前と洗浄後の数値を確認・判定



特殊分解洗浄とは？

カビを根元(菌核)まで除菌・分解することで素材を傷めず効果(安全や見栄え)を継続させる洗浄です。

従来の洗浄(高圧洗浄)



特殊分解洗浄カビとり隊では



C.S.R値

ご存知ですか？履物を履いて動作する床では基準の数値があることを、日本建築学会ではC.S.R値：0.4以上が推奨されています。

履物着用の場合の滑り 日本建築学会*の推奨値

床の種類	単位空間等	推奨値(案)
床路面 履物を履いて動作する	敷地内の通路、建築物の出入口、屋内の通路、階段の路面・踊場、便所・洗面所の床	C.S.R=0.4以上
	傾斜路(傾斜角θ)	C.S.R-sinθ=0.4以上
	客室の床	C.S.R=0.3以上

(*)(社)日本建築学会材料施工委員会内外装工事運営委員会 床工事WG(床の性能評価方法の概要と性能の推奨値(案)) (2008年6月)

ATPふき取り検査

ATPふき取り検査とは、細菌や残渣が残っている場合に存在するATP(汚染物質)を高感度に測定する方法である。結果が30秒程で得られることから、清浄度検査としては最も支持されている測定方法であり、「食品衛生検査指針」にも収載されている。2021年から義務化となるHACCP(ハセップ)においても、適切な配慮と準拠を示すための検査記録の維持・管理方法として推奨されている。

